

「子どもが主役のまちづくり～私たちがあの子にできること～」  
 市民ワークショップ実施要領（案）

1. 目的

(1) 【困難を抱える子ども・家庭に関する共通認識の醸成】

本市の中で困難を抱えている子ども・家庭の状況について実態調査結果を伝え、関係者間で対話することにより課題に対する共通認識を持つ

(2) 【計画策定のヒント】

（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画を策定するにあたって、「困難を抱える子ども・家庭に関連する地域活動」における、地域・行政・教育など関係者間の協働のあり方や役割分担のかたち、協働することによる地域システム構築のヒントを得る

(3) 【困難を抱える子ども・家庭に関連する地域活動の活性化】

参加者が、開催地域における子どもの居場所やテーマに関連する活動状況を知り、テーマに関心のある人・団体をつなげて関連する地域活動を活性化するきっかけづくりをする

(4) 【社会資源調査】

参加者アンケートで、テーマに関連する活動をしている団体の取組内容、参加者の関心の高い活動等の情報を収集することで社会資源を発掘する

2. 開催日時・場所

回	開催日	開催時間	会場	参加人数
第1回	8月3日（土）	午前9時30分	湘南台公民館ホール	各回 30人程度※
第2回	8月10日（土）	～	湘南大庭公民館体育室兼ホール	
第3回	8月24日（土）	午後0時30分	本庁舎3階 会議室3-3,4	

※7月22日までに電話もしくはFAXで申し込み（先着順）

3. 参加者

(1) 市内在住・在勤・在学、市内を拠点に子どもの活動をされている方

※未就学児の同伴可（会場内に、保育ボランティア常駐の子どもスペースを設置）

※ターゲットは、一般住民、NPO、市民団体、社会福祉法人、企業等形態は問わず、実際に活動しているか否かも問わない。

4. 周知

(1) 7月10日号の広報ふじさわ、市HP

(2) チラシの配架、配布

5. タイムスケジュール

第1部は、実態調査結果の概要報告を行う講座形式とし、第2部は、参加者同士が意見交換を行うワークショップ形式の、二部構成とする。

第2部は、参加者を5～6班のグループに分け、ファシリテーター（市民活動推進センター職員）の全体進行に基づき、テーブルホスト（市職員）のリードで、いくつかの問いに対し意見交換を行う。

構成	時間	内容	
	9:15～	開場・受付	
第1部 講座 (60分)	9:30～	開会	
	9:35～	実態調査結果の概要報告 質疑応答	スクリーン使用
休憩 (10分)	10:30～		自己紹介や問に対する意見をメモしておく
第2部 ワーク ショップ (85分)	10:40～	自己紹介 意見交換 問1 問2 班発表	5～6班を設定 各班：参加者5名、市職員2名 自分の意見をメモした上で発言、自由討議する流れを想定
	12:05～	閉会	アンケートへの協力依頼

※カフェコーナーを設置し、和やかな雰囲気作りに努める

## 6. 意見交換の問い

	質 問	ねらい
自己紹介	4マス自己紹介（A4用紙を使用） 4マスの中心にニックネーム ①私の立ち位置（選択制） ②仕事・地域活動・得意なこと ③参加動機 ④第1部で心に残ったこと・感じたこと	テーブル内で打ち解け、対話を円滑にする
問1	あなたの身の回りに、気になっている「あの子」はいますか？ ①「あの子」はどんな子で、どのような状況にいますか？どんな困りごとがありますか？ ②「あの子」のために、どのようなサポートやまちづくりが大切だと思いますか。	各人の課題意識を踏まえて、子どもの育ちを支える上で、大切なことの共通意識の醸成
問2	「あの子」のために、私たちが今できることは？ ①「あの子」のために、「わたし」にできそうなことが何かありますか。 ②「あの子」が笑顔でいるために、「私たちが」できることとは？地域・行政・教育などの関係者が、連携できる取組とは？	自分ごととして、「わたし×できること」を出した後に、各自の「できること」を掛け合わせて、連携してできる新しい取組、連携に向けた課題について対話

## 7. 7月5日子ども・子育て会議におけるプレ実施

8月開催のワークショップを前に、ワークショップにおける進行や問いの設計について確認することを目的に、7月5日子ども・子育て会議の場においてワークショップ・プレ実施を行う。

8月開催のワークショップは、二部構成とするが、7月5日の子ども・子育て会議プレ実施では、時間に限りがあるため、第1部の実態調査結果概要報告はせず(事前に資料配布)、第2部の意見交換をメインに実施する。

時 間	内 容	時間	
10:00～	開会	5	増田委員長の進行に基づき、事務局から説明等をする。
10:05～	事前質疑に対する回答 事前質疑7件	15	
10:20～	報告 ワークショップ説明 ニーズ調査・計画策定	15	
10:35～	ワークショップ・プレ 説明 自己紹介 問1 問2 発表	85 5 10 20 30 20	(株) 浜銀総合研究所 野口様の進行に基づき、各班で意見交換。 委員を3班に分け、各班の進行・書記役等として市職員が入る。
12:00～	閉会	5	増田委員長

プレ実施の課題等を踏まえて、8月開催に臨みたいと考えているため、どんなことでも構いませんので、ご意見等ありましたら、7月12日(金)までに、メール、FAX、電話でお知らせください。

メール：fj1-kodomo-se@city.fujisawa.lg.jp  
FAX：50-8428  
電 話：50-3562 (直通)

## 8. その他

地域のご意見を伺う取組として、ワークショップの開催とは別に、11月下旬に講演会形式の催しを検討しております。機会がありましたら、是非お問い合わせください。

以 上

7月5日子ども・子育て会議におけるプレ実施（事務局用）

1. 会議全体のタイムスケジュール

時 間	内 容	時間	
10：00～	開会	5	増田委員長の進行に基づき、事務局から説明等をする。
10：05～	事前質疑に対する回答 事前質疑7件	15	
10：20～	報告 ワークショップ説明 ニーズ調査・計画策定	15	
10：35～	ワークショップ・プレ 説明 自己紹介 問1 問2 発表	85 5 10 20 30 20	(株) 浜銀総合研究所 野口様の進行に基づき、各班で意見交換。 委員を3班に分け、各班の進行・書記役等として市職員が入る。
12：00～	閉会	5	増田委員長

2. ワークショップ・プレの役割分担

役 割		職員担当者名（敬称略）	
全体進行	プレにおける全体進行	(株) 浜銀総合研究所 野口様	
意見交換	一人はテーブルホスト (班の進行役) 一人は書記 (メモの模造紙貼付け) 子育て企画課職員はヘルパー	A班	青少年課 小野 青少年課 近藤 子育て企画課 吉原
		B班	子ども家庭課 大庭 子ども家庭課 杉田 子育て企画課 小島（広）
		C班	子ども健康課 中村 子育て企画課 水谷 子育て企画課 和田
タイムキーパー	時間を図り鐘鳴らす	(株) 浜銀総合研究所 石川様	
写真撮影	意見交換や発表時の様子、完成した模造紙を撮影し、記録に残す	子育て企画課 林	

### 3. 委員の班分け

班名	A班	B班	C班
子ども 子育て 会議	有田委員 秦野委員 原田委員 渡辺委員 中川委員 岩田委員	神尾委員(11:30 退室) 竹村委員 大澤委員 都丸委員 村井委員 川口委員 阿部委員	梶ヶ谷委員 梶居委員 佐藤委員 石川委員 田淵委員 加藤委員
事務局 (敬称略)	青少年課 小野 青少年課 近藤 子育て企画課 吉原	子ども家庭課 大庭 子ども家庭課 杉田 子育て企画課 小島(広)	子ども健康課 中村 子育て企画課 水谷 子育て企画課 和田

### 4. ワークショップの進行

配分	進行	備考
2分	意見交換会の説明(趣旨・意見交換会の流れ) ○第2部開始の挨拶と趣旨説明 ○意見交換の流れ ○第2部の司会者へ交代	
3～5分	司会の4マス自己紹介 ※場の雰囲気を作るために、ファシリテーターの自己開示は大切 ○意見交換でのお願い ○テーブルホスト・書記、トーキング・オブジェクト ○ワールドカフェのエチケット ○挙手の練習 ○意見交換のエチケット説明 ○4マス自己紹介の説明	
8～10分	各テーブルの自己紹介(アイスブレイク) ○テーブルホスト、書記の自己紹介(2分) ○自己紹介(各1分×5)	
5分	<b>意見交換その1 ①「あの子」はどんな子で、どのような状況にいますか? どんな困りごとがありますか?</b> ○司会による問の発表(スクリーン投影)、1～2分で記入のお願いをする ○各自ポストイットへの記入 ○1分後に「ベル」などの合図を出す ○テーブルホストが進行管理して、記入した人に発言をしてもらう(一人1分目処)、1人もいない場合は、難型ケースを読み上げる ○全体進行は、残り1分、終了を伝える	

15分	<p><b>意見交換その1 ②「あの子」のために、どのようなサポートやまちづくりが大切だと思いますか？</b></p> <p>○全体進行による問の発表（スクリーン投影）、3分で記入のお願いをする</p> <p>○各自ポストイットへの記入</p> <p>○3分後に「ベル」などの合図を出す</p> <p>○テーブルホストが進行管理して、最初に一人ずつ発表の時間を持つ（各1分×5）その後、自由に意見交換</p> <p>○全体進行は、残り5分、1分、終了を伝える</p>	
10分	<p><b>意見交換その2 ①「あの子」のために、「わたし」にできそうなことが何かありますか？</b></p> <p>○司会による問の発表（スクリーン投影）、3分で記入のお願いをする</p> <p>○4マス自己紹介で記入した、自分の仕事や活動、得意なこと、調査で心に残ったことで、やりたいこと、活かせることのヒントにしてほしいとうながす。</p> <p>○各自ポストイットへの記入</p> <p>○3分後に全体進行が「ベル」などの合図を出す</p> <p>○テーブルホストが進行管理して、最初に一人ずつ発表の時間を持つ（各1分×5）。</p> <p>○全体進行は、10分経過したところで全体に経過時間を伝え、様子をみながら②の説明をする。</p>	
20分	<p><b>意見交換その2 ②「あの子」が笑顔でいるために、「私たち」ができることとは？ 地域・行政・教育などの関係者が、連携できる取組とは？</b></p> <p>○司会による問の発表（スクリーン投影）、5分で記入のお願いをする</p> <p>○その1②の「どのようなサポートが必要か」、その2②の「わたしに出来ること」を組み合わせるなどして、連携した取組のアイデアを考えてほしいとうながす。</p> <p>○各自ポストイットへの記入</p> <p>○5分後に全体進行が「ベル」などの合図を出す</p> <p>○テーブルホストが進行管理して、最初に一人ずつ発表の時間を持つ（各1分×5）、その後自由に意見交換をする。</p> <p>○途中、全体進行から、意見に相乗りをして、連携のアイデアを発展させていくことをうながす。</p> <p>○全体進行は、残り5分、1分、終了を伝える</p>	
20分	<p>全体共有（各テーブルからの発表）</p> <p>○全体進行は、テーブル内の発表者を決めるように促す。</p> <p>○意見交換で一番よくしゃべっていた人が立候補をしてくださいとうながす。</p>	

	<p>○各テーブルでその2②で出た連携のアイデアについて発表する(1テーブル 2~3分)</p> <p>※参加者全員が、席を立て模造紙が見える位置に移動するようながす。</p> <p>○全体進行役から、本日の意見交換会の感想を、2, 3名の人を指名して話してもらう</p> <p>(話しそうな人の目星をつけておく)</p> <p>○全体に対して大きな拍手をうながす</p>	
5分	<p>挨拶・閉会</p> <p>○全体司会は、参加へのお礼、意見交換会全体のまとめ、終了の挨拶、アンケート記入のお願い、事務連絡を行う</p> <p>※テーブル内、ご近所などで、連絡先の交換等を積極的にながす(アンケート記入含め、12:30頃終了)</p>	